

2020 年度新入学生 「決意表明」



桜の花が舞い、小鳥のさえずりが聞こえ、春の訪れが感じられる今日、事業創造大学院大学に入学できることに喜びと誇りを感じると共に、これからの大学での生活に、大きな夢と希望を抱き、未来への一步を踏み出すことに、身の引き締まる思いです。

4月9日より、この事業創造大学院大学の第十五期生となる76名を代表し、ひと言、ご挨拶させていただきます。

私たちはさまざまな地域から縁あってこの事業創造大学院大学にやってきました。私たちにとってこれから共に学ぶ仲間たち、指導をしてくださる先生方、こちらで過ごす時間、これらのすべてが人生の宝となり、未来への糧となるでしょう。

さて、今日、日本そして世界では次世代通信規格5Gがスタートし、新たな時代の到来を楽しみにしている中、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るい、東京オリンピック・パラリンピックの延期、学校の休校、企業の就職内定の取り消し等、日本中の人々が不安な生活を余儀なくされています。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生により、これまで表に出なかった様々な社会の弱点が浮き彫りになってきています。人や物の動きの世界的な遮断、国内の経済活動抑制、国際金融市場の不安定化など、リーマンショックを超える不景気が来るのではないかといわれております。

そんな中、注目を集めているものもあります。在宅ワーク、オンラインによる会議や講義、診療など、外出自粛のため、デジタルシフトが進んでいます。

新型コロナウイルス騒動の前と、終息した後では世界は大きく変化します。変わりゆく世界の中で我々は何ができるのか、時代の変化に柔軟に対応し、企業を成長させ、組織を強く牽引し、たくさんの人を幸せにする、それができる人材となるためにここに集まりました。

私たちは、本学において経営学を学び、実務に活かせるよう、本学のカリキュラムを修了まで真摯に取り組んでいく所存です。教職員の皆様、関係者の皆様、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、私たちは国籍や年齢、職業も様々です。本学での出会いに感謝し、お互いを刺激しあい、お互いに影響を与え合い、『たくさんの人を幸せにすることができる人材』を目指し大学院生活を送ることをここに誓います。

令和2年4月9日
新入生代表 齋藤 慎平

